

施策評価管理シート

施策体系	政策	1	支え合い健康でいきいきと暮らせるまち	2018(平成30)年6月作成	
	基本施策	2	保健・医療・福祉のネットワークづくり	担当部局名	部局長名
	施策	2	健康づくり	福祉子ども部	森嶋 和宏

1. 施策の基本方針 Plan

○ 市民が主体的に行う健康づくりの取組を総合的に支援するとともに、社会全体が相互に支え合いながら、市民の健康を維持・増進する環境を整備します。

○ 食生活の改善や運動習慣の定着等により健康を増進することに重点を置いた取組とともに、合併症の発症等重症化を予防することに重点を置いた対策の推進により、健康寿命の延伸を実現し、自立した社会生活を営むことを目指した心身機能の維持及び向上につながる対策に取り組めます。

2. 現状と課題 Plan

・全体として数値目標の達成率は上昇していますが、一人ひとり自らの健康づくりに対する関心の高まりは十分ではありません。

・地域における健康づくりの担い手育成や、地域での健康づくり事業の推進に取り組んでいますが、地域によって意識や姿勢にばらつきがあり、全地域を一定の水準とすることは困難な状況であります。

○ 施策指標（目標）及び達成状況 Plan Do

施策指標（目標）の内容（単位）		現状値 (H26)	2016 (H28)	2017 (H29)	2018 (H30)	進捗率
健康な暮らしを送っていると感じている市民の割合（％）	目標	-	-	-	83.0	0.0%
	成果	80.3	78.8	76.6		
特定健康診査受診率（国民健康保険）（％）	目標	-	-	-	45.0	56.8%
	成果	35.5	38.9	40.9		
大腸がん検診受診率（％）	目標	-	-	-	38.0	16.9%
	成果	20.3	22.2	23.3		

3. 課題解決への取組内容（平成29年度） Plan Do

計 画	実績及び主な成果
<ul style="list-style-type: none"> 引き続き健康づくりに対する関心を高めるための啓発事業に取り組むとともに、ハイリスク者に対するきめ細かな相談、指導を進めます。 がん検診受診率向上を図るため、地域での普及、啓発に取り組みます。 特定健康診査受診率向上を図るため、各医療機関に受診勧奨を依頼するなど、連携した取組を進めます。 「名張版ネウボラ」の充実に取り組むことにより、妊婦、産婦、乳幼児等に対する健康づくりの啓発、指導を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> 名張ケンコー！マイレージの本格実施により、376名の参加がありました。 生活習慣病予防、介護予防、健康づくりに関する知識や技術を学び、地域の中で普及啓発、実動する人材を育成する「まちじゅう元気プロジェクト」により、まちじゅう元気リーダー430名を育成しました。また、よくバリ青春体操普及ボランティア「よくバリーダー」89名を養成しました。 がん検診受診率については、大腸がん検診、肺がん検診において受診率が向上しています。 特定健康診査受診率も向上しています。

4. 成果を踏まえた課題や現状 Check

・健（検）診の数値目標の達成率は上昇していますが、急激に高齢者が増えている状況の中で、慢性疾患、持病を持っている人も多く、介護予防の取組が大切になっています。

・がん検診については、受診率の向上を目指してきましたが、がんの発見率を上げるという観点から、精密検査受診率の向上と検診精度の向上を目指す必要があります。

5. 課題解決への取組内容（平成30年度） Action

・生活習慣病予防重点プロジェクトにより、特定健診・保健指導の受診率等の向上を目指します。また、がん検診受診率の向上とともに精密検査受診率の向上と検診精度の向上に取り組めます。併せて糖尿病重症化予防も行います。

・まちじゅう元気プロジェクトにより、まちじゅう元気チームの活性化を図り、まちじゅう元気リーダーの地域活動を支援し、介護予防の体制整備を図ります。また、ケンコー！マイレージの推進により、閉じこもりを予防します。

・幼い頃からの健康的な生活習慣の確立支援を行います。

6. 行政評価委員会による総合評価 Check

ケンコー！マイレージについて、市民へ広く周知するなど、各種取組やイベントへの参加が促進されるような様々な手法を検討すること。